

K-RELEASE

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.200

静岡県企業局
 ● 電話 054-221-2153
 ● F A X 054-251-5381
 発行 令和3年1月25日

令和2年度 企業局優良建設工事等表彰

企業局では、建設業における技術力の向上や適正な施工を促進するため、卓越した技術力を発揮して優れた成績を修めた建設業者や技術者を表彰しています。令和2年度は、令和元年度に完成した企業局発注工事の中から下の表中の6者を表彰しました。

企業局の事業は、建設業に従事される多くの方々の方で支えられています。今後も企業局の工事への御理解と御協力をよろしくお願ひします。

令和2年度 企業局優良建設工事等表彰 受賞者一覧 (敬称略)

優良工事部門	企業局長表彰	山本建設株式会社 (三島市)
	東部事務所長表彰	有限会社 タカミ建工 (静岡市清水区)
		有限会社 新井塗装店 (富士市)
西部事務所長表彰	三好塗装工業株式会社 静岡支店 (静岡市清水区)	
	光燿建設株式会社 (磐田市)	
優良技術者部門	西部事務所長表彰	松川電気株式会社 (浜松市東区) 遠山 和

企業局長表彰 表彰式 令和2年12月22日(火)

<対象工事> 駿豆水道用水供給事業 送水管災害復旧工事 【施工者:山本建設株式会社】
 (令和元年度台風19号により、延長50mにわたって被災した口径900mmの水道管の復旧)
 <受賞理由> 平常心を忘れずに冷静に進める力と、一刻一秒でも早く成し遂げるというスピリットと覇気をバランスさせ、施工管理、安全管理が総合的に優れ、昨今の新技術も活用し緊急工事をより早く完了させた他の模範となる工事であったため、表彰します。



局長表彰(右:山本建設代表取締役)



山本建設代表と企業局幹部職員



東部事務所表彰式(1月15日)



西部事務所表彰式(1月20日)

地鎮祭が開催されました！

令和2年12月21日に「富士山麓フロンティアパーク 小山」区画7-2にて、株式会社アドベルの「小山マテリアルリサイクルセンター」新築工事の無事完了と、工事関係者の安全を祈願して、地鎮祭が開催されました。

同社の花ヶ崎修也代表取締役は、「2021年には、汚れたプラスチックゴミの輸出規制が開始され、国内処理が主流となる。世界的に海洋プラスチック汚染の問題が顕在化していることを背景に、限りある資源の有効活用の必要性に着目した。PET to PET や、自動車内装材等の繊維原料として製品を供給していく計画である。当社の事業が、静岡県を進める環境対策などとリンクし、相互協力できる関係になっていきたい。」と話しています。



▲花ヶ崎代表取締役「鉄入の儀」



▲ペットボトルフレーク

【 小山マテリアルリサイクルセンター新築工事概要 】

区 分	内 容
建物用途	ペットボトルフレーク（プラスチック成形材料）製造工場
建築面積・構造	3,640.68 m ² 鉄骨造1階建て
工事期間	令和2年12月から令和3年9月
設計・施工	株式会社フジタ

【 株式会社アドベル概要 】

本 社	神奈川県平塚市榎木町1-11
概 要	<p>神奈川県内を営業エリアとして、広告事業を主に、ビル総合管理業、環境サービス・リサイクル事業、家事代行サービス事業、駐車場・賃貸事業を行っており、プラスチック成形材料の製造は新規事業として取り組む。</p> <p>東日本では最大のバス事業者である神奈川中央交通株式会社の100%子会社。</p>

CNF製品開発最前線

丸富製紙株式会社

東駿河湾工業用水ユーザーの丸富製紙株式会社様が、CNF（セルロースナノファイバー）で強度をアップした世界最長レベルのトイレットロールの開発に成功しました。昨年12月、新製品の発売にあわせ、川勝平太知事を表敬訪問し、新製品の機能や魅力を紹介しました。そこで、平成30年10月以来、2回目のK'リリース登場となる同社生産技術・新製品開発部の八木部長と武内さんから、詳しいお話を伺いました。

—丸富製紙株式会社はどんな会社ですか？—

弊社は昭和30年に設立し、昨年、創立65周年を迎えました。最初はチリ紙生産から始まり、昭和34年からトイレットペーパーの生産を開始すると、昭和50年には生産量で国内一位となり、現在、全国シェア15%を占めています。常に向上心をもって進み、共に栄える心が、丸富製紙の基本姿勢です。家庭紙製造業として広く社会に貢献することを願い、ニーズに応える製品づくりと環境保全をめざしています。



弊社が生産する製品の原料は全て森林資源です。このため、従来から環境負荷の低い製品づくりに取り組んできました。日本初となる牛乳パックをリサイクルしたトイレットペーパーの製造をはじめ、日本初で世界でも2番目となる環境ISO14001の認証取得、さらには全工場がFSC（Forest Stewardship Council）森林認証制度の認証を得ています。日々の生産活動においても地球規模の大きな視野で捉え、2030年に向けて世界が合意した「持続的な開発目標 SDGs」に対して真摯に取り組んでいます。

—CNFに着目したきっかけは？—

弊社では平成27年から、芯なしで、通常のロール5個分に相当する1ロール250m巻きのトイレットロール「超ロング」を発売しています。国内最長で、当社が最も得意とする技術です。芯のごみが出ないため、環境にやさしいだけでなく、取替えの手間や保管スペースが少なく済むことから、東京ディズニーリゾートやユニバーサルスタジオなど多くのテーマパークでも使われています。



ただ、芯なしであるがゆえに、生産時や輸送時の衝撃により内側がつぶれ、変形してクレームとなってしまうことがありました。この課題を解決するため、「高強度」で紙と同じ「セルロース」からできている「CNF」の活用を思いつきました。CNFの種類や濃度を変えた数百種類のCNF懸濁液を作成し、芯部に塗布

しては圧縮試験や落下試験、巻きほぐしテストなどを行い、強度や使いやすさの確認を繰り返しました。塗布方法も様々な工夫を重ねました。この結果、最適のCNF懸濁液を見出し、芯の強度を従来比30%~50%向上させることに成功しました。試験は静岡県富士工業技術支援センターの協力を得て、強度向上を客観的に評価していただきました。パッケージには「芯強度アップ、植物由来のナノ繊維配合」と分かりやすく表示し、現在、特許出願中です。

前回、取材を受けた際は、経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定していただき、製品化を目指してCNFの研究開発をスタートさせようとしていた状況でした。今回、CNFを活用して弊社主力商品の品質向上を実現でき、大変うれしく思っています。

—最後にひとことお願いします—

「ペンギン芯なし超ロング5倍巻きシリーズ」は、省スペース・省資源・省エネルギーに貢献する商品であり、大いにアピールしていきます。雑誌「Tissue World Magazine」にも掲載され、世界に向けて発信しています。

現在、静岡県にちなんだお茶やメロンを原料としたCNFが使えないかと考えています。今後も、他社にできないことに挑戦を続け、あっと驚く新商品を世に送り出すイノベーションを加速させていきたいです。



知事室にて記念撮影
(左から)武内さん、川勝知事、佐野社長、八木部長

水道事業の業務状況(令和2年12月25日現在)

12月の使用水量は、前年度同期で榛南水道は100.1%、遠州水道は104.6%と増加しましたが、駿豆水道は99.6%と減少し、全体では103.5%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			12月分	累計	12月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,000	27,500	868	7,925	28.8
	前年度同期	100	3,000	27,500	872	8,301	30.2
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.6	95.5	
榛南	当該年度	27	810	7,425	458	4,162	56.1
	前年度同期	27	810	7,425	457	4,203	56.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.1	99.0	
遠州	当該年度	292	8,763	80,328	5,122	45,691	56.9
	前年度同期	292	8,763	80,328	4,898	44,221	55.1
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	104.6	103.3	
合計	当該年度	419	12,573	115,253	6,448	57,778	50.1
	前年度同期	419	12,573	115,253	6,227	56,725	49.2
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	103.5	101.9	

工業用水道事業の業務状況(令和2年12月25日現在)

12月の使用水量は、前年度同期比で、柿田川工水は101.0%と増加しましたが、富士川工水は94.2%、東駿河湾工水は92.3%、静清工水は96.2%、中遠工水は88.8%、西遠工水は95.8%、湖西工水は98.5%と減少し、全体では94.7%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			12月分	累計	12月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,000	27,500	2,887	26,477	96.3
	前年度同期	100	3,000	27,500	2,858	26,441	96.1
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	101.0	100.1	
富士川	当該年度	46	1,371	18,216	581	5,261	28.9
	前年度同期	105	3,147	28,845	617	10,873	37.7
	前年度同期比	43.6	43.6	63.2	94.2	48.4	
東駿河湾	当該年度	367	11,013	101,000	7,052	66,726	66.1
	前年度同期	367	11,021	101,378	7,639	68,197	67.3
	前年度同期比	99.9	99.9	99.6	92.3	97.8	
静清	当該年度	52	1,550	13,974	1,060	9,540	68.3
	前年度同期	52	1,549	14,101	1,101	9,815	69.6
	前年度同期比	100.1	100.0	99.1	96.2	97.2	
中遠	当該年度	42	1,271	11,632	421	3,793	32.6
	前年度同期	42	1,272	11,664	474	4,252	36.5
	前年度同期比	99.9	99.9	99.7	88.8	89.2	
西遠	当該年度	34	1,021	9,486	623	5,619	59.2
	前年度同期	35	1,045	9,599	650	5,617	58.5
	前年度同期比	97.7	97.7	98.8	95.8	100.0	
湖西	当該年度	17	496	4,465	303	2,799	62.7
	前年度同期	17	496	4,500	308	2,922	64.9
	前年度同期比	100.1	100.1	99.2	98.5	95.8	
合計	当該年度	657	19,723	186,273	12,927	120,214	64.5
	前年度同期	718	21,530	197,586	13,647	128,118	64.8
	前年度同期比	91.6	91.6	94.3	94.7	93.8	